

地域医療公開講座

破綻した北海道夕張市立総合病院を夕張医療センターとして再出発させ、日々奮闘されている村上先生をお招きし、地域医療公開講座を開催致します。

深刻な医師不足が続く中、住民は、医療従事者は、行政はどうすればいいのか。先生のお話には、地域医療のこれからについて、たくさんのヒントが含まれています。

皆様のご来場をお待ちしています。

【開場】 13:15 ~

【開会挨拶】 14:00 ~

御前崎市：石原 茂雄 市長

【特別講演】 14:10 ~ 15:10

『地域医療の今日までそして明日から』

座長

市立御前崎総合病院 病院長

大橋 弘幸

講師

医療法人財団 夕張希望の杜

理事長 むらかみ 村上 ともひこ 智彦 先生

村上先生プロフィール

昭和36年北海道生まれ。北海道薬科大学大学院薬学研究科修士課程終了。金沢医科大学医学部卒業。自治医科大学地域医療学教室臨床派遣助手。岩手県藤沢町民病院、北海道瀬棚町国民健康保険医科診療所所長などを経て、現在は医療法人財団夕張希望の杜理事長、夕張市立診療所・介護老人保健施設夕張 管理者

日時：2011年5月28日(土) 午後2時から

会場：市立御前崎総合病院 2階 講堂

問い合わせ：0537 - 86 - 8511

主催：市立御前崎総合病院 共催：ファイザー株式会社

村上 智彦 先生 出演番組



2007年07月22日放送

医師

財政破綻の夕張市で、医療を変え、まちを変えようと本気で取り組む男だ。委託費など市からの資金は一切出ない中、累積債務の清算がおよそ45億円にのぼった夕張市立総合病院の運営を引き受けた。

村上は、患者の声にじっくり耳を傾け、薬の量や種類を減らし、病気予防の大切さを語る。そして目指すは医療を核にした、まちの再生だ。「大口たたいって思う？でも、物事を変えられるのは“若者、よそ者、ばか者”って言うでしょ。」と村上。

番組は、およそ4ヶ月間、村上に密着した。夢を語り、走り続ける彼の情熱の根源はどこにあるのか。ニュースでは知り得ない熱き“ばか者”村上の日々を追った。

NHKスペシャル



2007年10月1日(月) 午後10時~10時49分
総合テレビ

地域の医療はよみがえるか
～夕張からの報告～

社会

医療・健康

国の医療制度改革が進まぬ中、相次ぐ病院の閉鎖や深刻な医師不足など、地域医療が危機に瀕している。そんななか、財政破綻した北海道夕張市で、これまでの医療の常識を超えた「地域医療再生」の取り組みが始まった。

44億円もの負債を抱えた市立病院の再建。誰もが尻込みする「火中の栗」を拾ったのが、同じ北海道の旧・瀬棚町で診療所長を務め、日本一高かった老人医療費を大幅に引き下げたことで知られる村上智彦医師(46)。「公設民営」という形で経営を引き継ぎ、ベッド数19の診療所として今年4月、再スタートを切った。

村上さんは小回りのきく診療所のメリットを活かし、患者宅への「訪問診療」と「予防医療」に重点をおく。病院が患者を抱え込むのではなく、地域や家族と手を携え患者をケアする体制へ。これによって病院に対する住民の意識を変えるとともに、「大量の投薬」と「社会的入院」によって膨れ上がった医療費を抑えられると踏む。

しかし村上さんの構想の前には、従来の病院経営に慣れ切った自治体や住民の「常識」、そして患者を地域に帰すにはあまりにお寒い介護の体制など、様々な壁が立ちまだかる。番組では、これまでの医療の常識を打ち破ろうとする夕張市の取り組みを通して、地域医療再生の処方箋とは何なのか、探っていく。



市立病院の閉鎖後、夕張市の医療拠点としてスタートした夕張医療センター



市立病院の閉鎖後、夕張の地域医療再生のために乗り込んできた村上智彦医師